

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-93675

(43)公開日 平成10年(1998)4月10日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
H 0 4 M 1/22

識別記号

F I  
H 0 4 M 1/22

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平8-243041

(22)出願日 平成8年(1996)9月13日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 中村 直行

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

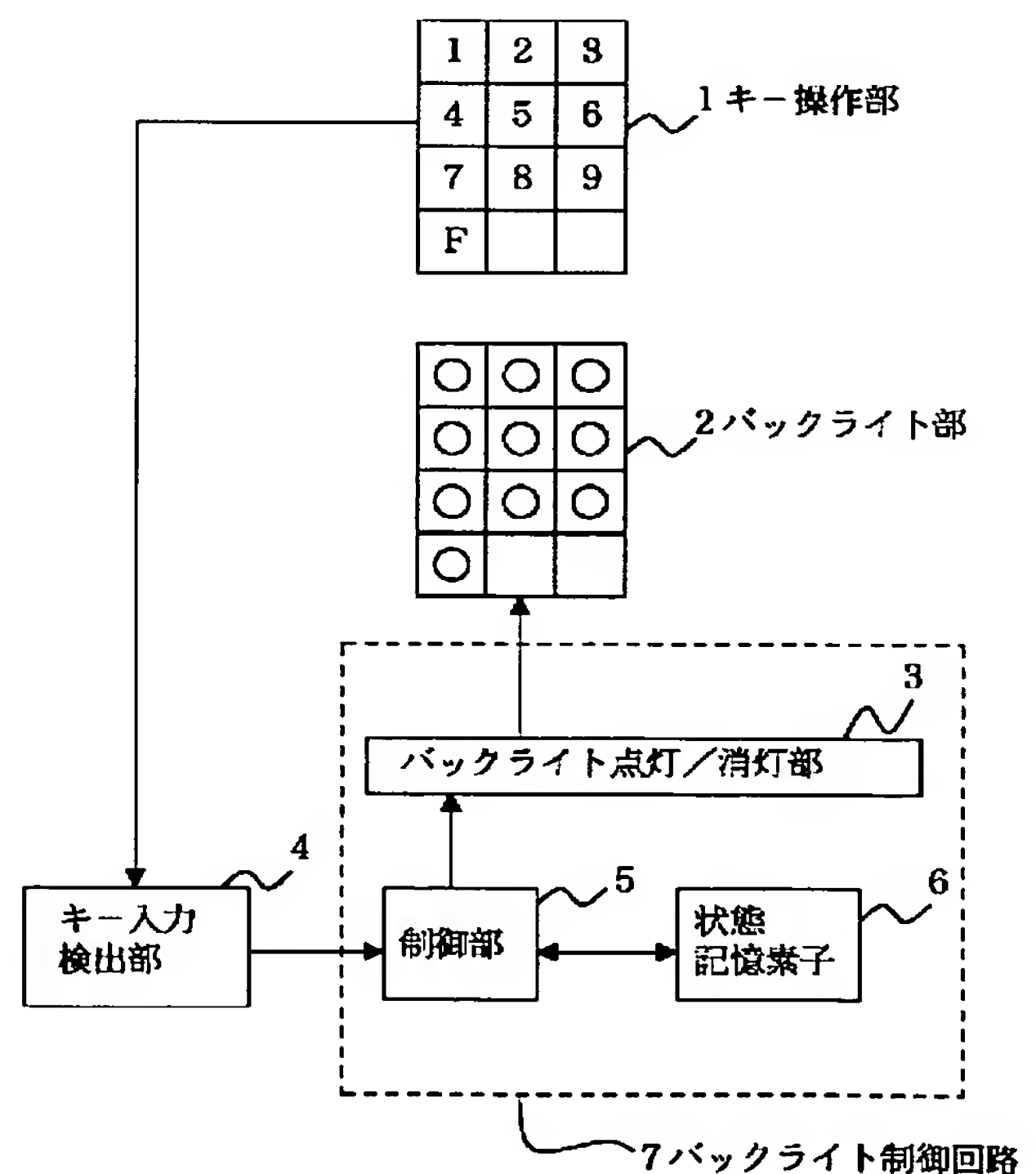
(74)代理人 弁理士 若林 忠

(54)【発明の名称】 携帯型移動無線電話装置

(57)【要約】

【課題】 携帯型移動無線電話装置の誤操作を減らし、操作性を向上させる。

【解決手段】 制御部5はキー入力検出部4で検出されたキー入力を受け付け可能なキーであるとき、装置の次の状態で受け付け可能なキーを状態記憶素子6から判別して、そのキーのみを点灯または点滅させるようにバックライト点灯/消灯部3を制御する。



可能なキーが“2”キーのみであることを状態記憶素子6に記憶されているデータより判別し、“2”キーのみが点灯（点滅）するようにバックライト点灯制御部3を制御する（図2（3））。そして、最後に操作者は“2”キーを操作することにより、操作者は目的の機能を実行することができる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、現在の状態でキー入力を受け付け可能なキーのみをバックライトにより照明することで、操作者が操作有効なキーを視覚的に判断できるため、操作者のキー入力の誤操作が減り、操作性が向上するという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

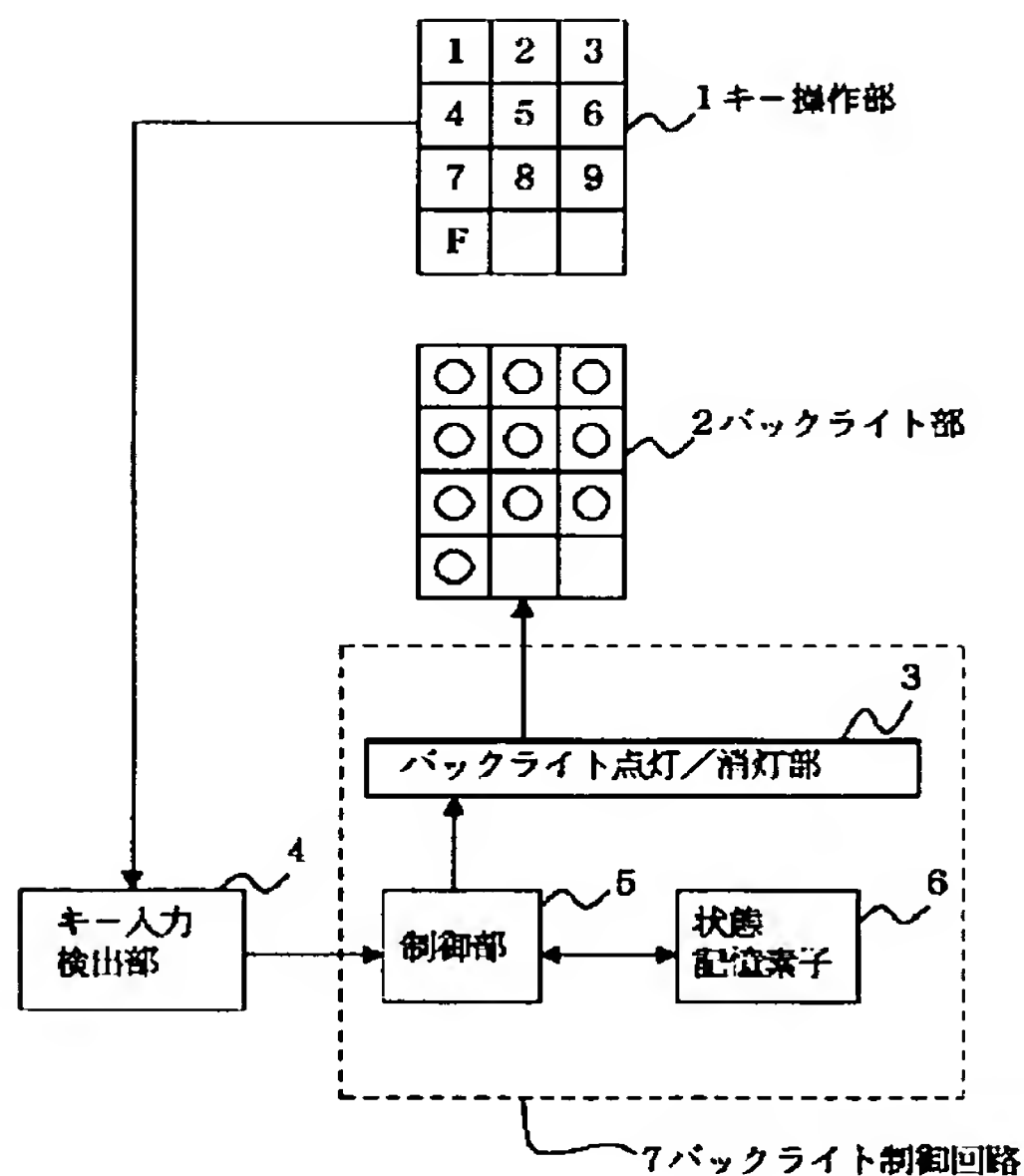
【図1】本発明の一実施形態の携帯型移動無線電話装置の要部の構成図である。

【図2】図1の携帯型移動無線装置においてキー操作によって点灯するキーの例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 キー操作部
- 2 バックライト部
- 3 バックライト点灯／消灯部
- 4 キー入力検出部
- 5 制御部
- 6 状態記憶素子
- 7 バックライト制御回路

【図1】



【図2】

